



郷土史

ていね

第 8 号

平成20年8月13日
手稲郷土史研究会会報

第27回（平成20年7月9日）定例会の講演要旨

手稲の縄文人はどこに？

… 石器・土器・人骨 …

札幌市埋蔵財センター 文化財担当課長 上野 秀一氏

パソコン画像の美しい地図や石器・土器等を映し出しての2時間の名講話は、初耳の驚く事の連続。約1万数千年前の旧石器時代から数千年前の縄文時代、更に今年の市内発掘調査3ヵ所（手稲富丘の警察署西側、北区、豊平区）にまで及び、手稲の山野、川海で狩猟・漁をして住んだろう縄文人のロマンと夢を想起させる壮大で興味深い内容であった。概要は次の通り。



発掘調査の様子

現在、市内の遺跡は524ヵ所で内手稲区には21ヵ所。主に5千年前にできた「紅葉山砂丘」（道道手稲・石狩線沿い前田～石狩花川）に多く、本町、稲穂、富丘に散在する。120年前の明治21年『東京人類学会雑誌』に「軽川の星野、森本氏の開墾地に土器・石器が出ている」と確認報告された！のが初。小中学生頃の上野課長も拾った事があるとか。正式の記録は昭和27年からで北大大場先生、手稲中学石川先生、手稲中学生が発掘（手稲N1遺跡）である。現在前田公園のN295遺跡は昭和59～61

年発掘。約2,300年前の続縄文前期土器、石器、装身具と札幌で唯一人骨（歯）が出土した土壌墓（どこうぼ）もある。この北の石狩、北区隣接地K483の全国的にも注目される鮭漁用「魚留めの杭列」発見例も紹介。現在発掘中の富丘N533（6,000～900年前）遺跡区民見学会（8月30日）への案内、市埋蔵文化財センターの見学利用法の紹介で感動の2時間が終了。なお茂内副会長から講師に前出の森本義質は前田農場以前の関係深い開拓者の一人と史実を提言、考古学と手稲郷土史研究の連携の重要性も痛感された。 [文責・野村]



出土した続縄文土器

次回例会の お知らせ

次回（9月10日）は、予定しておりました講師の都合により、変更しまして、加藤利昭氏の会員発表「山口運河と山口の名産物」と一ノ宮博昭氏の会員発表「手稲の死刑囚物語」を予定しております。

手稲・銭函の道路史など

條野 雄一 氏

「札幌国道開通記念碑」この碑が国道 5 号線朝里に入る小さな広場に建立されているのに関心を持って見る人は余り居ないのではないだろうか。

屯田兵として仙台亘理より琴似に入植した祖父を思い小樽より軽川を通り琴似に入った古道を調べることに ……



この碑について知るための開発局、小樽市役所銭函出張所等を尋ねるが資料は残っておらず図書館に何度か通い大正 9 年の道路の入った写真集を見つける。

それから色々の古地図等により道を拾い継いで行き一本の道が出来上がり、その道をたどって歩いてみると途中は碎石場があり、住宅街有り途中でやっと通れる道であったが途中張碓付近では近くに住むお爺さんに出会い話を聞く事が出来たが雨のため中断 又話を聞きたいと ……

これらの行動は子供の頃より大人の昔話を聞くのが好きで何にでも首を突っ込んで聞いた事が今も身に付いていると話されておりました。

又曾祖父の話で 12 歳の妻は馬の背に乗り山越えをしたとか屯田兵で入ったため西南戦争の時は長男等働ける人は荷物を背負い九州鹿児島まで行ったとか等のエピソードも添えられました。

[文責・濱埜]

～ ◆ ～ ◆ ～ ◆ ～ ◆ ～ ◆ ～ ◆ ～ ◆ ～ ◆

研修視察のご案内

石狩・当別・江別方面 「石狩川」の文学と歴史の旅

- ◆ 日時 9 月 13 日 8 時 45 分集合（9 時出発）
- ◆ 集合場所 手稲区民センターロビー
- ◆ 主な見学地 紅葉山了恵寺、本庄睦男生誕の碑（ロイズふと美工場）、当別伊達記念館、伊達邸別館、旧町村農場、江別河川防災ステーション
- ◆ 参加費 2,500 円（交通費・昼食代等として、当日徴集）

「手稲鉾山研究グループ」の発足会

会員の中から同好の志を募っていたが、12 名の参加申込みがあったので、7 月 28 日、区民センターで第 1 回目の研究会を開いた。

三菱鉱業所の発行した「手稲鉾山史」や「手稲鉾山鳥瞰図」などの貴重な資料が提出され、今後の進め方など活発に話し合われた。

これらの資料をもとに月 1 回程度の研究会を開き、山の手博物館などの視察や映写会など幅広い展開が期待されている。

次回は 8 月 18 日（月）開催するので、参加を希望する方は鈴木まで申込みください。